

2022年4月 (No.394)

## 主な内容とページ

変化をみせる半導体の世界貿易 .....	1
半導体輸入、中国のシェア減 .....	2
輸入急伸のアジア 3 か国 .....	3
中国市場は台湾、韓国それから米国の三ヶ国が席捲 .....	4
中国の半導体貿易赤字が過去最高を更新 .....	6
停滞する韓国の半導体輸出 .....	7
再逆転の台湾、韓国を抜き半導体輸出額世界トップ .....	8
エネルギー、ICT そして半導体(SRL だより) .....	10

## 変化をみせる半導体の世界貿易

半導体の世界貿易の動向をまとめた。

1. 圧倒的なシェアを確保する中国の半導体輸入シェアは 21 年に減少。ほかのアジア諸国や欧州に大きな伸びがみられた。
2. 中国の半導体貿易赤字は 21 年に前年比 17%増の 2,630 億ドルに達し、3 年ぶりに過去最高を更新した。半導体の国産化に拍車がかかりそうだ。
3. 巨大な中国半導体市場は米国、韓国、台湾の 3 か国のシェアが高まっているとみられ、米中貿易戦争下で、地政学の影響を反映した動きが今後は一段と高まることが想定される。

## エネルギー、ICT そして半導体

ロシアによるウクライナ侵攻の行方は未だわからない。背景、事情、地政学いろいろな見方があるが、私は、エネルギー、ICT(情報技術)そして半導体がキーワードと思う。ロシアはエネ大国、ICTは米国の巨大GAFAsそして半導体は、米中貿易紛争の要因の一つ、コロナ感染拡大後は世界的に品不足が深刻化した。

ロシアはエネ大国だが、石油や天然ガスから太陽光など再生可能エネの活用が世界的に進む。ICTは、人々の生活を変え、GAFAsの巨大な富は時代の新たな王者を彷彿とさせる。ICTで躍進著しい中国は、着々と力を付け、米国と覇権争い、経済戦争に突入した。一時は大国だったロシアの存在感は薄らぐ一方だ。

再生エネ利用の象徴ともいえる電気自動車は100年に一度の変革といわれ、それはICTやそれを支える半導体と組み合わせ、新たな時代を切り開こう。新エネ、電池、半導体それからICTが地域国家の盛衰に直結する。わが国は、紛争に直接巻き込まれていないが、いずれも劣勢、大丈夫だろうか。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報をSRLの解釈と分析で表現したものです。

2022年 著作権所有 株式会社SRL

### SRL Monthly Report

2022年4月(毎月1回発行)第33巻4号(通巻394号)

発行元: 株式会社SRL

〒188-0014 東京都西東京市芝久保町 3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2022

### SRL Monthly Report

April 2022, No.394

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014 Japan

Mail: [info@semiconresearch.co.jp](mailto:info@semiconresearch.co.jp)

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1年分(12号)98,000円(税別) 107,800円(税込み)